

花鳥会、於・ロンドン能楽ワークショップ・レジュメ

(2010年6月12日、於・ロンドン大学アジア・アフリカ学部)

1 謝辞（平戸）～ Acknowledgement

2 平戸の自己紹介及び花鳥会の紹介

3 Mr.Paul Courtney によるスピーチ（5分ほど）

「日本の能楽についての所感」

4 能楽の概要

平戸が日本語で語り、Mr.Courtney が英語で通訳、ところにより DVD の Silent の映像「融」の一部をご覧いただきながら、視覚に訴えて、説明を補完する。

- ① 能楽の歴史 ～ 観阿弥、世阿弥による舞台芸術として確立されておよそ650年
- ② 能楽＝能と狂言。 「能」の流派＝シテ中心の流派としては5つの School
- ③ 能のシナリオは、約210番で新作能もあるが、ほとんどが伝統を受け継いでいる
- ④ 演劇的な要素と音楽的な要素を兼ねそねえている。
前者は舞としぐさ、後者は声楽（独唱、斉唱）と器楽（太鼓、大鼓、小鼓、笛）
- ⑤ 仮面劇であり、「面」自体に美術的な価値がある
- ⑥ 固有の Costume を着用する
- ⑦ 固有のステージ～橋掛かりと5.5 x 2 Square の舞台、鏡板
- ⑧ 象徴的で簡素な舞台装置～例として家と舟
- ⑨ 各流派の組み合わせと一回性
- ⑩ 終焉直後に拍手はせず、演者もお時儀をしない。また、Curtain Call もない

5 謡曲と仕舞

- ① 能のエッセンスである ～ 謡曲：声楽の部分、仕舞：舞の部分
- ② かつての武士階級の教養。後に町民の娯楽 ～ 能が普及し存続した理由
- ③ 能は、Professional の演技を観賞するもの。

謡曲・仕舞は、Amateur が自分の Hobby として楽しむもの

6 Shimai Part 1 ～平戸が舞い手を紹介すると共に曲に含まれる形の簡単な解説を行う

- ① 難波
- ② 網の段
- ③ 笠之段

7 DVD による能の概要を「杜若」（部分）を例にとって解説

8 謡曲の小人数による楽しみ方の例

笹之段（連吟）

9 Shimai Part 2 ～平戸が舞い手を紹介すると共に曲に含まれる形の簡単な解説を行う

- ① 花筐・狂
- ② 雲林院・キリ
- ③ 阿漕
- ④ 天鼓

1 0 希望者に謡いの実技指導～ Wedding Ceremoney でよく謡われる「羽衣」

1 1 お茶を飲みながらの Q&A

